



さんじょう

八戸市立三條小学校
令和2年度学校だより
第7号
令和2年6月12日
☎ 27-2216



『聴き合う関係』の充実を図る

校長
河村 雅庸

朝、校長室の窓を開けるとカッコウの鳴き声が響き、初夏を実感する頃となりました。保護者・地域の皆様にはご健勝のことと存じます。今週は真夏日となった日もありましたが、これからの時季、熱中症対策もしながら、どうぞ、体調の管理にご留意くださればと思います。

6月に入り通常の時程での学校生活がスタートして、2週目が過ぎようとしています。学校ブログでもお伝えしていますように、業間マラソンや縦割り清掃もスタートした中、どの学年の子どもたちも落ち着いた中にも、活気のある生活を送っています。これも、朝笑顔で子どもたちを送り出してくださる保護者の皆様方のお陰と感謝しています。

さて、今年度の学校経営の基本方針について、4月24日付けの学校だより第2号でお伝えしたところですが、今年度の学習面の重点施策として「『聴く』『話す』態度を育て、学び合いの充実を図る」ことを掲げました。今年度から完全実施となった学習指導要領では、子ども同士が伝え合い学び合う活動が重視されています。そして、伝え合うためには、聴き合う関係づくりが必要であり、そのためにも、子ども一人一人に「聴く力」「話す力」が備わっていなければならないからです。

特別なことがない限りは、1日に1回は各学級の授業を参観するようにしていますが、日々の子どもの様子から、多くの教室で「話し手に顔や体を向けてより詳しく聴こうとする姿」「聴いたことを引用したり、自らの感想を入れて話したりする姿」が見られ、子どもたちの成長をうれしく感じています。「聴く力」「話す力」は、コミュニケーションには欠かせないものであり、子どもたちの将来につながる大切な力でもあります。

三密のリスクを可能な限り避けながらの教育活動がまだ続いている中ではありますが、6月は『聴き合う関係』の充実を図りながら、伝え合い学び合うことに力を注いでいきたいと思っています。

～「よく遊び、よく学び」ができる子に～

天気がよい日が続き、休み時間には校庭でたくさん子どもたちが遊んでいます。その様子を見て、日常の生活が徐々に戻ってきたのだなとうれしく感じています。

ところで、子どもにとって、遊びは大事なことだとよく言われます。それは、子どもは遊びから様々なことを広く学んでいるからです。また、遊びをしない子どもの方が、将来困ることになるのではないかと考えています。一般の動物社会では遊びが学習であって、遊びのよくできない動物は、うまく生存できないということを聞いたこともあります。

私が担任だった頃、よく保護者の方から、「うちの子はゲームばかりしてさっぱり勉強しない。困ったものだ。先生、何とかならないものでしょうか。」と言われたことがありました。そのとき、私は、次のように返していました。

「一生懸命遊ばせましょう。一生懸命に遊ぶとは、晴れていたら外で遊び、元気いっぱい体を動かして汗が出るくらい遊ぶ。雨が降っていたら頭を働かせて工夫して楽しく遊ぶ。たくさんの友達と仲良く、時刻を守って、安全に遊ばせましょう。」

と。家でごろごろとゲームばかりしているのは、案外、遊びをなまけている状態ではないかなと思います。そして、子どもたちには、思いっきり体を動かしたり頭を働かせたりして工夫した遊びをしてほしいと思っています。

さらに、勉強のできる子は、遊ぶときにはきちんと遊び、勉強するときにはきちんと勉強するというけじめが、しっかりできているように感じます。「よく遊び、よく学び」の三條っ子にしていきたいものです。

～防犯教室を行いました～

6月10日（水）の3校時に防犯教室を実施しました。今回も、新型コロナウイルス感染症対策のため、各教室で放送による学習となりました。そして、5月14日に実施した交通安全教室に引き続き、八戸駅前交番の金澤所長さんに来校していただき、テレビ放送で全校のみんなに指導していただきました。

金澤所長さんからは、次のようなことについて教えていただきました。



- 学校にいるときは、先生の話をしっかり聞くこと。そして、不審者が入ってきたりしたときには騒がないで、先生の指示をしっかり聞くこと。
- 「いかのおすし」を忘れないこと。
 - 「いか」… ついて行かない
 - 「の」… 乗らない
 - 「お」… 大声を出す
 - 「す」… すぐ逃げる
 - 「し」… 知らせる
- 目と耳と口をよく使うこと。
 - 「目」… まわりをよく見る。いつもいる人や車を覚えて、いつもと違う人や車がいるときには気をつける。
 - 「耳」… よく聞く。
後ろから近づいてくる車などの音に気をつける。
 - 「口」… 大きな声を出す。
元気に挨拶をすることが大事。不審者が近づかない。



金澤所長さんのお話に続き私からは、「明るく元気な子には、不審者も声をかけてこないそうです。みんなで、普段から生活のルールを守り元気な挨拶をして、明るい三条地区にしていきましょう」と話しました。

1、2年生が下校するとき、外に出て様子を見ていたら、防犯教室で金澤所長さんから教えていただいたことを、さっそく話題にして話しかけてくれた子がたくさんいてうれしくなりました。

また、以前、新聞を読んでいたら「家庭と地域の防犯教室」という特集があり、防犯に向け、

- 地域住民が積極的に町中に姿を見せ、すれ違う子どもたちに挨拶や声かけをすることで生まれる「自然監視」を防止力にする。
- 庭の清掃や犬の散歩、ランニングなどをしながら周囲に目を配る「ながら見守り」を広める。

ということが書かれていました。朝、子どもの登校の様子を見ながら学校周辺を歩いていると、「おはようございます」と挨拶をくださる地域の方々や、子どもと一緒に歩いてくださる保護者の方々をたくさん目にし、有り難く思っています。そして、まさに、私が新聞で読んだ「家庭と地域の防犯」が広がっていることを実感しています。

これからも、地域・保護者の皆様のお力をいただきながら、安全・安心な三条小学校にしていきたいと考えていますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。



学校ブログ
でも紹介

<6月の教育活動から>

